## ILSI Japan 活動報告<2020>

## 栄養健康研究会

## 【栄養研究部会】

1,2月	特に進捗なし
3,4月	特に進捗なし
5,6月	栄養研究部会(研究テーマ、活動方法)についてのアンケート調査実施
7,8月	2020 年度 第1回目の栄養研究部会を Web (Zoom) で開催 (7月13日、15:30~17:00) し、今後について意見交換した。その結果、以下の方針で合意した。 ① 栄養研究部会の活動を再開させる。当面の間、1 か月~1 か月半毎に会議 (Web会議: Zoom) を開催し、日頃の活動などを具体化させる。 ② 新たな研究テーマ (研究テーマの領域) は「栄養・運動と免疫機能」とする。 ③ 日頃の活動としては、専門の先生を呼んで定期的に勉強会 (講演会)を開く。具体化に向け、まずは、部員から「栄養・運動と免疫機能」領域のトピックス (題目・話題)と講師の先生について、ご提案いただく (アンケート調査実施)。 ④ 4年毎に「ライフサイエンスシンポジウム」と「栄養とエイジング」国際会議を開催する (次回開催年はライフサイエンスシンポジウム: 2022 年、「栄養とエイジング」国際会議: 2023 年)。 日頃の活動でしっかりした内容を蓄積し、イベントでの発表、あるいは論文化など外部への積極的な情報発信を行う。
9, 10 月	<ol> <li>2020 年度 第 2 回目の部会を Web (Zoom)で開催 (9月2日、15:00~16:30) し、以下の方針で合意した。</li> <li>(5) 栄養・運動と免疫機能」の領域のトピックスと先生のアンケート調査結果(計、26件:26名の先生)の共有。次回の部会までに、トピックスの絞り込み(カテゴリー分け)を行うことにした。</li> <li>(7) 原稿締め切りが 2020年11月15日のイルシー誌(No.145、2021年2月発行)に原稿が間に合えば、栄養研究部会の新たな活動(定期的な勉強会(講演会)など)を紹介する記事を作成し提出することにした。</li> <li>2. 2020年度 第 3 回目の部会を Web (Zoom)で開催 (9月15日、15:00~17:00し、以下の方針で合意した。</li> <li>(1) 「栄養・運動と免疫機能」の領域の 26件のトピックスについて、カテゴリー分類し、日頃の勉強会(講演会)で優先すべきトピックス8件(8名の候補の先生)に絞り込んだ。</li> <li>3. ILSI Japan 理事の清水先生(東京農業大学)をお招きし、2020年度 第 4回目の部会を Web (Zoom)で開催 (10月2日、10:30~11:30)し、勉強会案についてアドバイスをいただいた。</li> </ol>
	4. 2021 年 ILSI Japan 研究会・研究部会 活動計画書・予算申請書(活動の名称: 栄養と運動が免疫機能に及ぼす影響についての最新の情報の収集と発信)を事務局に

	提出した(10月23日)。
11, 12月	1. イルシー誌 No.145 (2021年2月発行) に事務局との協働で栄養研究部会の研究会トピックス (題目:「栄養と健康」をテーマとした新たな活動の紹介) を寄稿 (10月下旬~11月初旬)
	2.2020 年度 研究会長・部会長 Web 会議 (Zoom) に参加 (11 月 10 日、15:00~17:30) ⑧ 栄養研究部会の 2020 年度の活動内容について報告。 ⑨ 2021 年度の活動方針 (2021 年 ILSI Japan 研究会・研究部会 活動計画書・予算申請書 (活動の名称:栄養と運動が免疫機能に及ぼす影響についての最新の情報の収集と発信) について報告。後日、本件は承認された。
	<ul> <li>3. 2020 年度 第 5 回目の部会を Web (Zoom)で開催(11月16日、13:00~14:40) し、以下の方針で合意した。</li> <li>② 2021 年度からは「栄養・運動と免疫機能」をテーマに Web 勉強会(2021年3月、6月、9月、12月、2022年3月)を開催する。</li> <li>③ 2022年7~9月に第10回「ライフサイエンスシンポジウム」を、2023年9月に第9回「栄養とエイジング」国際会議を開催することを目指す。</li> </ul>
	4. 2021 年からの Web 勉強会でご講演いただきたい先生方へのファーストコンタクト を事務局と協働で開始(12月)。